

がん登録情報の活用について

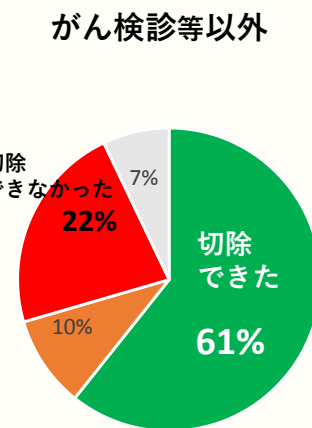
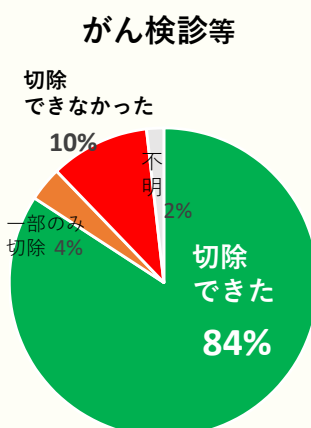
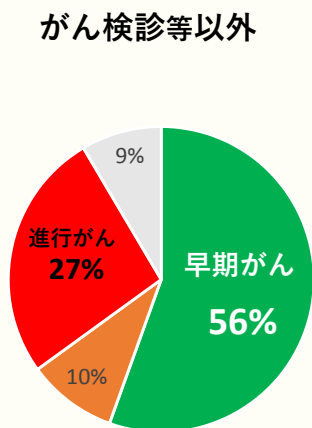
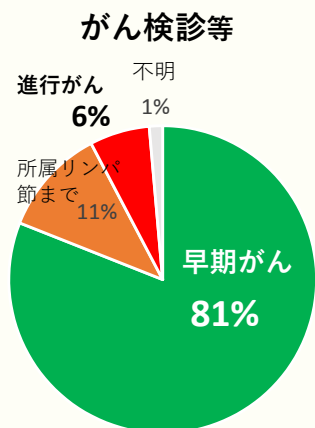
(1) がん登録情報から見たがん検診の有用性

(出典：がん登録データ2014)

①胃がん

見つかったがんは？

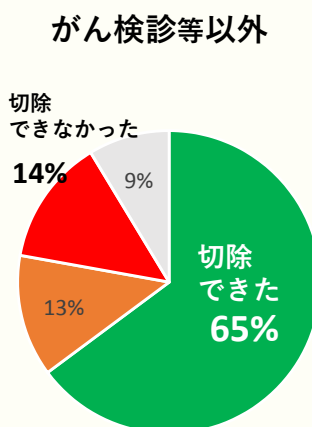
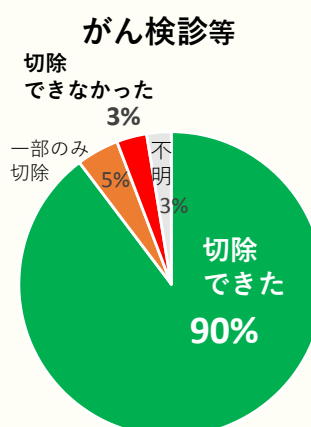
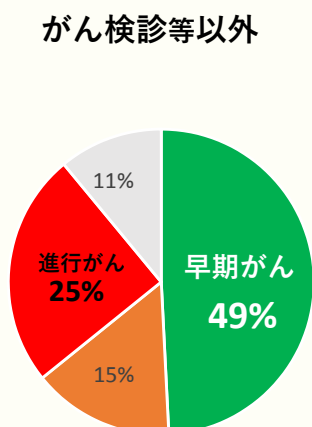
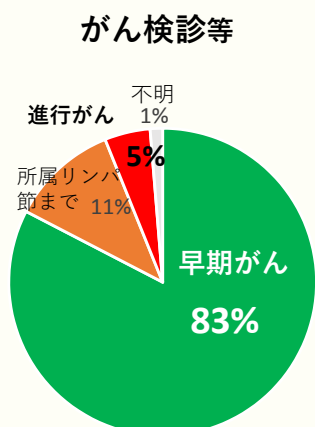
外科的切除は？



②大腸がん

見つかったがんは？

外科的切除は？



がん検診等：がん検診、健康診断、人間ドック
 がん検診等以外：他疾患の経過観察中の偶然発見、その他、不明

③肺がん

見つかったがんは？

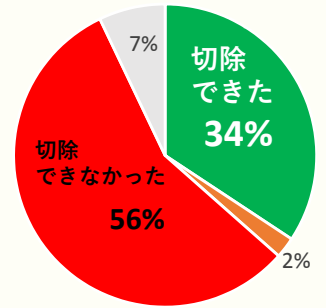
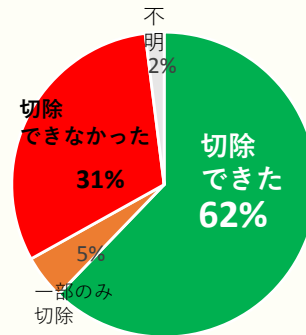
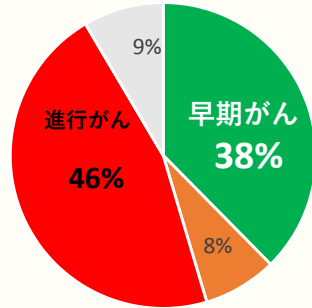
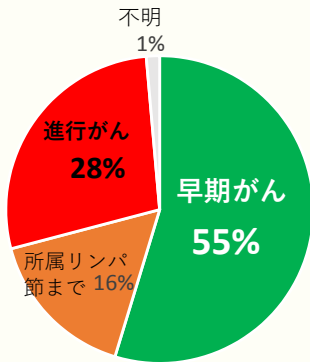
外科的切除は？

がん検診等

がん検診等以外

がん検診等

がん検診等以外



④乳がん

見つかったがんは？

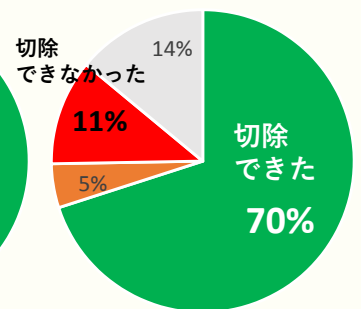
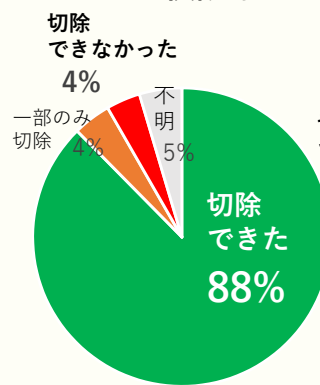
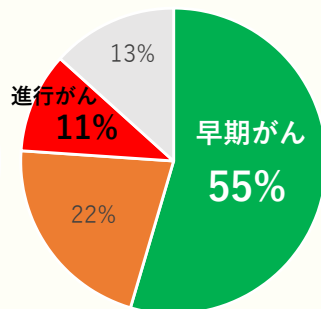
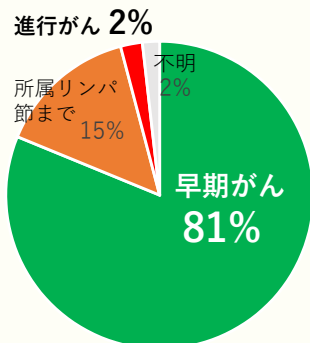
手術は？

がん検診等

がん検診等以外

がん検診等

がん検診等以外



⑤子宮頸がん

見つかったがんは？

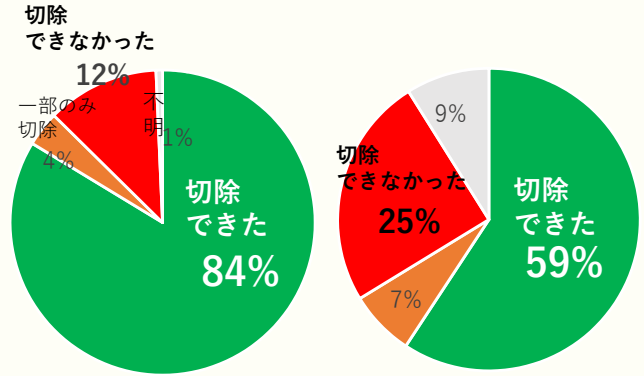
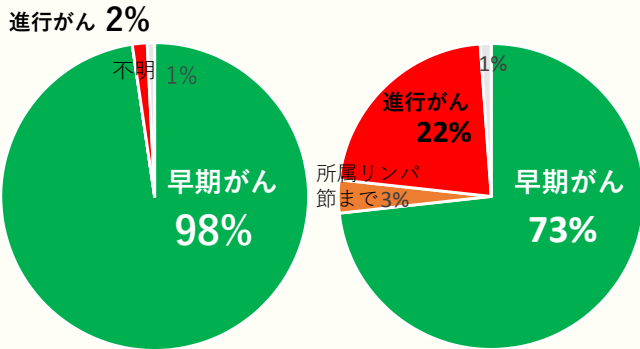
外科的切除は？

がん検診等

がん検診等以外

がん検診等

がん検診等以外

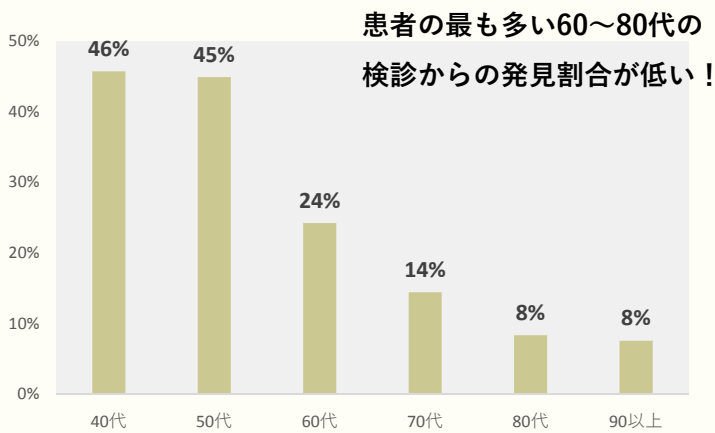


(2) がん登録データ等から示唆される有効ながん検診受診啓発方法等

(出典：がん登録データ2014等)

①胃がん 検診受診率**45.6%** (H28国民生活基礎調査) 精密検査受診率**91.7%** (H28地域保健・健康増進事業報告)

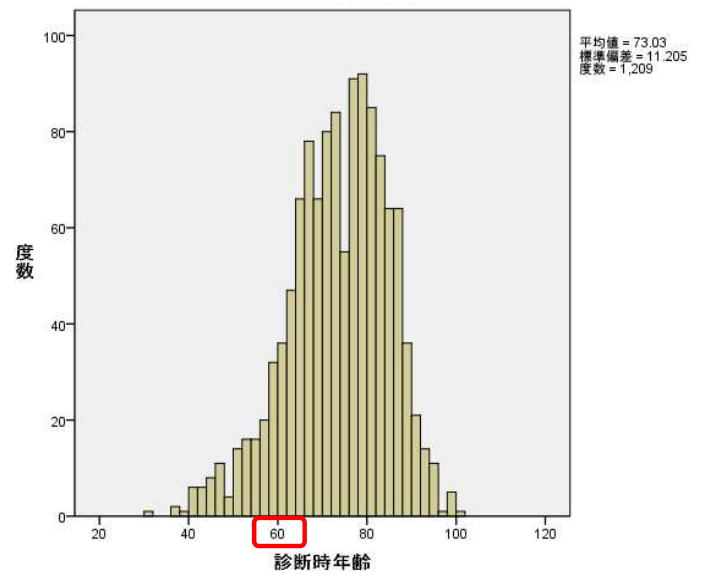
検診から発見された割合



患者の最も多い60~80代の
検診からの発見割合が低い！



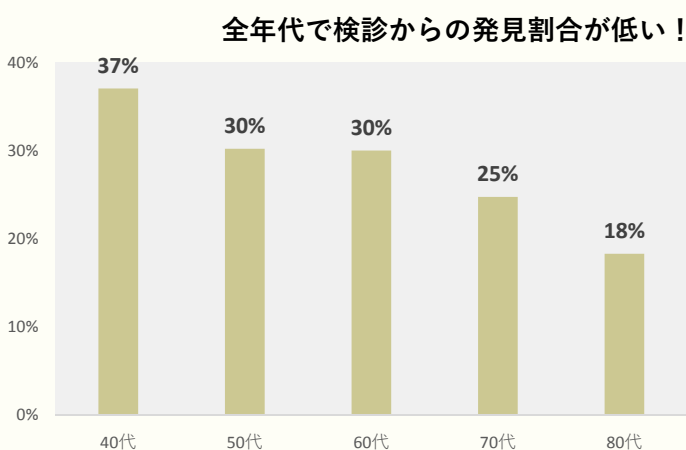
啓発のメインターゲットはここ。
とくに50代→60代への移行時の啓発が大事



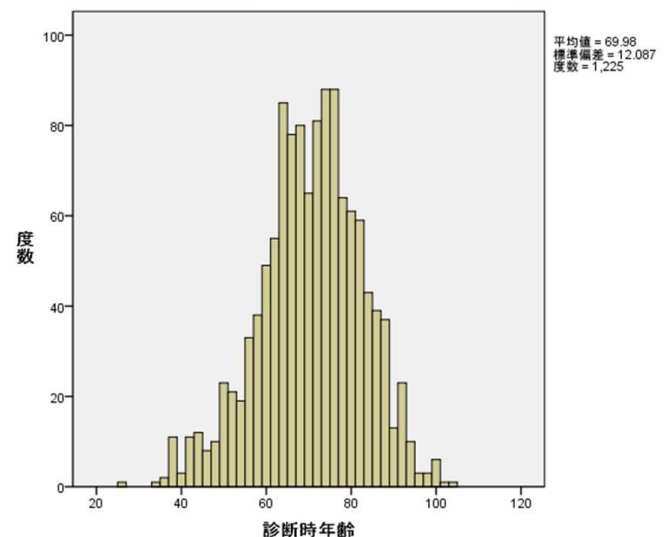
胃がん登録人数

②大腸がん 検診受診率**46.3%** (H28国民生活基礎調査) 精密検査受診率**70.3%** (H28地域保健・健康増進事業報告)

検診から発見された割合



全年代で検診からの発見割合が低い！

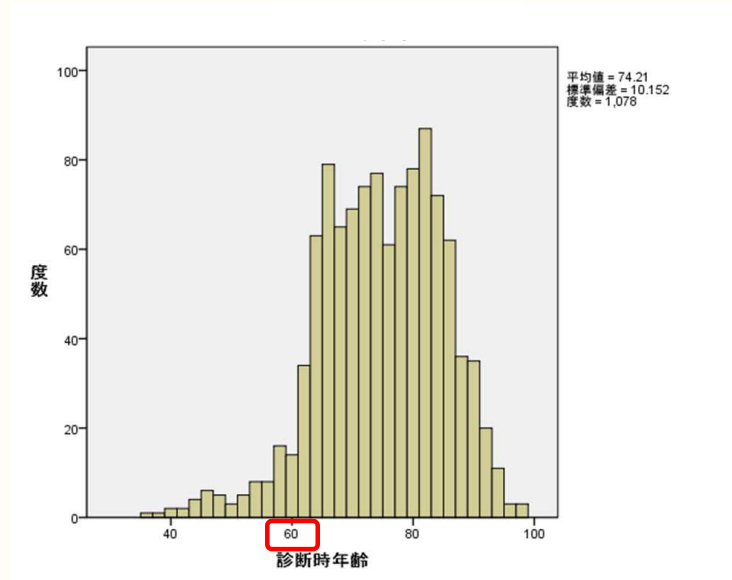
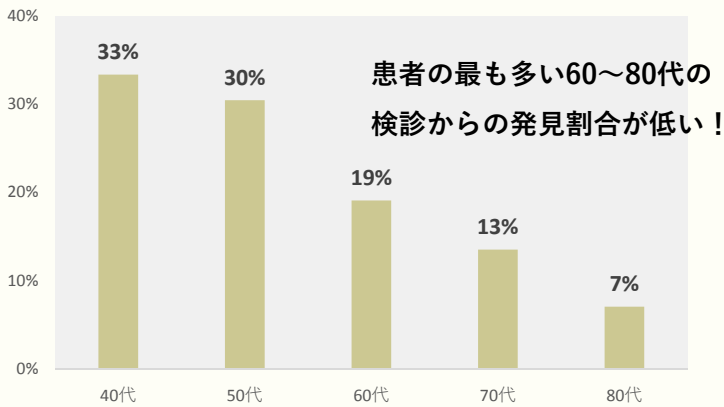


大腸がん登録人数

精密検査受診率の向上が最も効果的。

③肺がん 検診受診率54.9% (H28国民生活基礎調査) 精密検査受診率93.2% (H28地域保健・健康増進事業報告)

検診から発見された割合



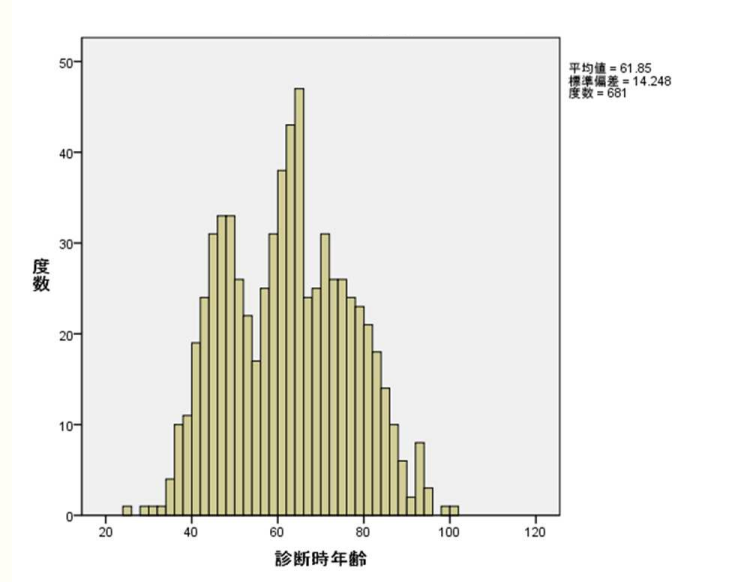
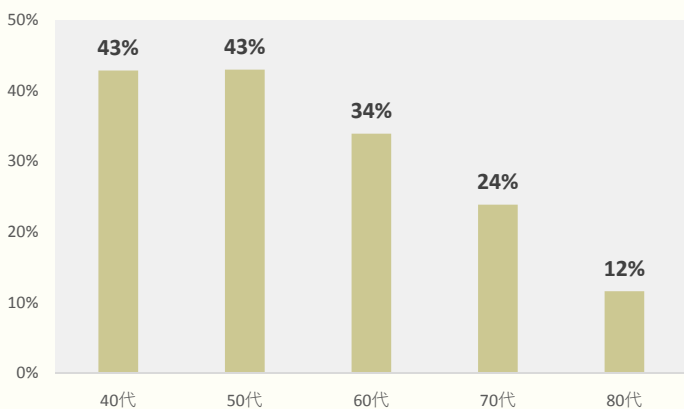
肺がん登録人数



啓発のメインターゲットはここ。
とくに50代→60代への移行時の啓発が大事

④乳がん 検診受診率49.3% (H28国民生活基礎調査) 精密検査受診率95.2% (H28地域保健・健康増進事業報告)

検診から発見された割合

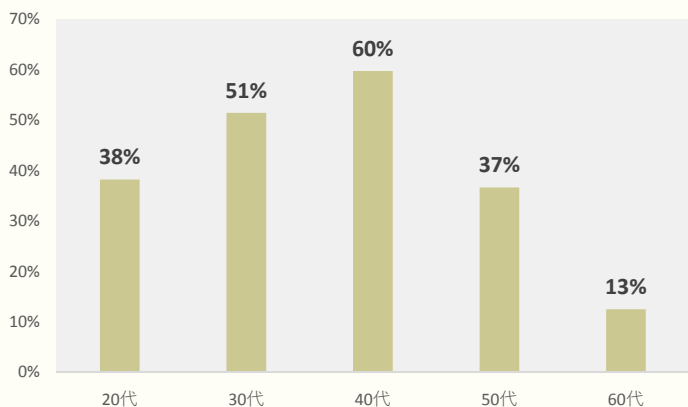


乳がん登録人数

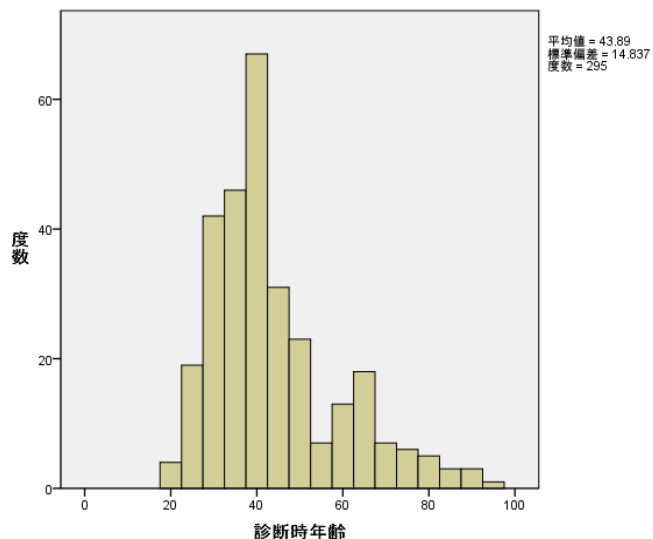


おおむね良いのでは。
もう少し60代の検診からの発見割合を増やしたいか。

検診から発見された割合



やはり20代がメインターゲットか。



子宮頸がん登録人数